

# ごあいさつ

おいでませ！山口国体下松市実行委員会会長

下松市長 井川 成正



平成23年10月2日から5日までの4日間、下松スポーツ公園体育館を会場に東日本大震災復興支援第66回国民体育大会「おいでませ！山口国体」バスケットボール競技会（成年男子・成年女子）が開催されました。国内最高レベルのプレーを観戦するため、たくさんの方にご来場いただき、大盛会のうちに幕を閉じることができました。特に“キラめき くだまつの宿”にお迎えした成年女子の民泊では数多くの感動や感激が生まれました。私は、21世紀を「心の時代」と捉え、市政を進めておりますが、これにふさわしい国体であったと感じております。

民泊協力会の皆さんには、1年以上前から調理実習や拠点施設の美化活動、花いっぱい運動など多くのご協力を賜り、市内全域で、国体の開催機運を盛り上げていただきました。

栄養や衛生面に気を配った食事の準備、趣向を凝らした歓迎会や送別会、花いっぱいの地域、手作りの歓迎装飾など民泊協力会の人情あふれるおもてなしは、下松市の魅力を全国に発信するところとなりました。

また、競技会場では、受入チームのサポーターとなった民泊協力会の大応援団の声援が、大会を大いに盛り上げてくれました。

「応援がうれしかった。」、「下松のお父さん、お母さんのために頑張ろうと思った。」といった選手の声を目にし、民泊協力会の皆さんと選手との心温まる交流を本当にうれしく感じたところであります。

このような感動と感激の体験を記録し、永く後世に伝えるため、ここに、思い出集を発刊することといたしましたので、ご高覧いただければ幸いです。

民泊の取組を通じて得られた貴重な経験は、地域の絆を深め、人情あふれる心豊かなまちづくりを推進していく大きな力になるものと確信しております。

大きな感動と感激をいただいた民泊協力会の皆さんに心から敬意を表するとともに深く感謝を申し上げます。